総合特別区域の進捗に係る事後評価［まちづくり等分野］

平成29年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区

［指定：平成23年12月、認定：平成24年3月］

Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価

ｉ）＋ⅱ）の平均値　（5.0＋4.4）／2＝4.7　**4.7**

ｉ）取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度（当年度実績）

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	106%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMSを活用した環境配慮型都市の確立	395%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	98%	5
5	虚弱予防活動の展開	130%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値　（5×5＋4×0＋3×0＋2×0＋1×0）／5＝5.0　**5.0**

※1）1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
（例）評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa：5・20%、b：4・10%、c：3・70%の場合、5×0.2＋4×0.1＋3×0.7＝3.5で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2）評価指標4は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ⅱ）取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値　**4.4**

Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

ｉ）、ⅱ）、ⅲ）の平均値　（3.7＋3.3）／2＝3.5　**3.5**

ｉ）規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値　**3.7**

ⅱ）財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値　**－**

ⅲ）地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値　**3.3**

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

（専門家所見（主なもの））

4.0

・適切な方向で行われており、実績も伴っている。

・指標の変更により、本特区の取り組みの進捗が評価しやすくなった。

・取り組みの定着が確認されるとともに、着実な進展がみられている。今後の発展・継続を見込んでいくときに、本特区の強みである「公民学連携」の部分を一層強化してゆくことが重要であると思われる。特に「学」との連携については、研究面での相乗効果を図るとともに、学生への教育効果の両面から促進してほしい。

・公民学連携による持続的な地域運営に関する数値目標（1）−①については、プロジェクトの数だけでなく、中身や継続性が重要と思われる。引き続き動向を注視したい。

・以前の評価で課題となっていた「自律した都市経営」を支えるベンチャー企業育成についてはさらなる取り組みが必要と思われる。

・評価指標（4）先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築に関しては、人手不足による施設閉鎖やサービス継続の課題が上がってきており、対応策の検討が必要である。

専門家による評価（専門家の総合的な所見）の平均値　4.0

総合評価

Ⅰ、Ⅱ及びⅢを1：1：2の比率で計算 (4.7＋3.5＋4.0×2)／4＝4.1

4.1

（注）評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。
・評価は5～1（評点）で行う。
・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
・進捗度以外の評価項目における評点は、5：著しく優れている、4：十分に優れている、3：適当である、2：適当であると認めるには不十分である、1：適当であると認められないとする。